

みずほCustomer Desk Report 2016/10/04号(As of 2016/10/03)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	101.43
TKY 9:00AM	101.54	1.1233	114.04	0.9723	GBP/USD	1.2930
SYD-NY High	101.67	1.1247	114.13	0.9745	AUD/USD	0.7681
SYD-NY Low	101.21	1.1205	113.65	0.9704		0.7641
NY 5:00 PM	101.66	1.1212	113.92	0.9736		0.7673
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.715/11.08		△25RR	0.998	Yen Call Over	
NY DOW	18,253.85	▲54.30	債券市場	日本2年債	-0.2750	1.2bp
NASDAQ	5,300.87	▲11.13		日本10年債	-0.0680	2.1bp
S&P	2,161.20	▲7.07		米国2年債	0.7916	3.0bp
日経平均	16,598.67	148.83		米国5年債	1.1784	2.9bp
TOPIX	1,330.72	7.94		米国10年債	1.6221	2.8bp
シカゴ日経先物	16,650	55.00		独10年債	-0.0930	2.6bp
ロンドンFT	6,983.52	84.19		英10年債	0.7330	▲1.3bp
DAX	-	-		豪10年債	1.9540	-
ハンセン指数	23,584.43	287.28	為替市況	USD/CNH	6.6783	0.0013
上海総合	-	-		ドルインデックス	95.70	0.23
USDJPY 3M Vol	11.73	▲0.26%	商品市況	CRB指数	187.030	0.71
USDJPY 6M Vol	11.39	▲0.14%		NY金	1,312.700	▲4.40
EURJPY 3M Vol	11.91	▲0.49%		WTI	48.810	0.57
EURJPY 6M Vol	11.95	▲0.32%		Dubai Spot	47.76	2.39

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月3日	8:50	日銀短観	3Q	-
	16:55	マークイット製造業PMI・確定値	9月	54.3
	17:00	マークイット製造業PMI・確定値	9月	52.6
	17:30	マークイット製造業PMI・確定値	9月	55.4
	22:45	マークイット製造業PMI・確定値	9月	51.5
	23:00	ISM製造業景況指数	9月	51.5

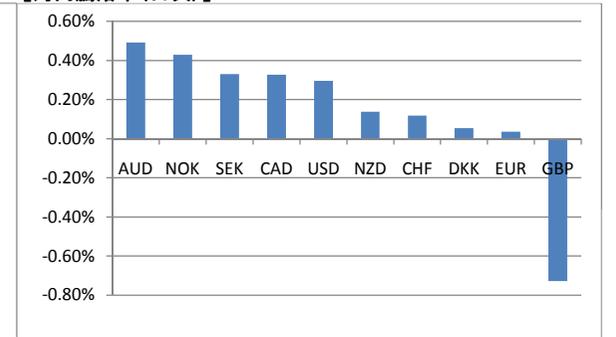
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月4日	10:30	NZ ウィーラー-RBNZ総裁講演	-	-
	12:30	豪 RBA政策金利発表	1.50%	1.50%
	17:30	英 マークイット建設業PMI	9月 49.0	49.2
	21:05	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁講演	-	-
	-	国際通貨基金(IMF) 世界経済見通し公表	-	-
	-	米 大統領選、副大統領候補 テレビ討論会	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.30-102.50	1.1140-1.1240	113.50-114.50

【マーケット・インプレッション】

先月米国が利上げを見送った大きな要因の一つであったISM製造業景況指数が大きく改善し、米金利の上昇にサポートされて米ドルが幅広く上昇した。ただしドル/円についてはGBP/円やEUR/円の上値が重いことが主因で102円を手前に足踏みしている状況。大きな値幅を期待することは難しいものの、下値が徐々に切り上がっていくことが予想される。

東京	東京時間オープン前に日銀短観が発表され、大企業製造業の業況判断DIは+6で横ばい、大企業非製造業の業況判断DIは+18で3四半期連続で悪化する結果となった。しかし、マーケットへの影響は特段見られず、かかる中ドル円は101.54レベルで東京時間オープン。先週金曜日にUSケンブリッジが改善した流れを引き継ぎ、日経平均株価が200円超上昇する中、ドル円は一時101.60近辺まで上昇するも、その後101.25近辺まで反落する展開。その後、一時的に101.67まで急騰する場面が見られたものの、総じて101円台前半で方向感に乏しい値動きに終始し、101.34レベルで海外市場に渡った。また週末にメイ首相が2017年3月までにEUに対して正式に離脱通告を行うとの報道を受けて、英ポンドは対ドルで先週クロス対比約50-60pipsギャップダウンし、1.2924レベルでシドニー時間オープン。しかしその後は1.29円台前半で揉み合い推移が続き、1.2932レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は101円台前半でレンジ推移となった。朝方は101.34レベルでオープン、オープン直後の欧州株の堅調さを受け、クロス円が上昇するとドル円もつれ高となり101.45まで上昇。しかし、その後は方向感に欠ける展開となり、101.37レベルでNYへ渡った。一方で、ポンドはロンドン時間序盤に大きく下落した後、1.28円台半ばから後半にかけてレンジ推移となった。朝方は1.2932レベルでオープン。週末の保守党大会でメイ首相は2017年3月末までにリスボン条約50条を発動し、またEU離脱交渉においては移民規制とEU法からの完全な独立を最優先するといった演説内容を受け、英国のEU離脱はいわゆる「Hard Brexit(EU単一市場へのアクセスを失うBrexit)」になるとの懸念が広がり、全般的なポンド売りを受けポンドは1.28円台半ばまで下落。その後は一時1.2894まで戻したものの、再び上値が重くなり、1.2870レベルでNYへ渡った。(ロンドントルジャー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は101.45レベルでNYオープン。朝方発表された米9月ISM製造業景況指数は51.5となり、先月の49.4から景気の節目といわれる50を上回ったことが市場では好感され、ドル円は一時101.66まで上昇。しかし、前営業日対比下落して寄り付いたダウ平均が終始マフス圏での推移となったことや、メイ首相が来年3月に正式にEU離脱通告を行うとの報道を受けてポンドが軟調であったことなどもあり、ドル円は積極的に上値を追う展開とはならず、狭いレンジ内での値動きが続き、101.66レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロは1.1236レベルでNYオープン。朝方発表されたISM製造業景況指数が予想を上回ったことを受けてドル買いが優勢となると、一時1.1205まで下落。しかしこの水準では買い意欲も高く、その後は1.12円台前半で揉み合い推移が続き、1.1212レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。